

ほっかいどう住宅フェア2024企画概要について



令和6年4月12日

ほっかいどう住宅フェア実行委員会事務局
(北海道建設部住宅局建築指導課)

2024イベントは、前回に引き続き9月開催とし、会場も引き続き道庁前庭+アカプラの2会場を一体的に活用。一方で前夜祭は行わず、28日(土)、29日(日)の2日間の日程とする。

■開催概要

- ▶ 会場：道庁赤れんが庁舎前庭+札幌市北3条広場（アカプラ）
- ▶ 開催日程：令和6年(2024年)9月28日(土)～29日(日)
- ▶ 設営：9月25日(水)～27日(金)
- ▶ 撤去：9月29日(日)～30日(月)
- ▶ 募集出展ブース数：28小間程度
(2023イベント 35小間+パネル展示)
- ▶ 入場料：無料
- ▶ ターゲット：全般
- ▶ 来場者目標：20,000人(2023イベント実績 30,600人)
- ▶ 主催：ほっかいどう住宅フェア実行委員会



■ほっかいどう住宅フェア

国土交通省が定める『住生活月間』の理念、取組に基づき、道内自治体や住宅関連団体、工務店、ハウスメーカー、資材メーカー、エネルギー事業者等の関連企業が集い、「ゼロカーボン北海道」を始めとする社会的・政策的課題に対し、住宅及び住宅関連分野における各種取組や製品などについて一般ユーザーへ官民が連携して広く情報発信・周知を行い、課題解決への取組の実効性の向上や道民の豊かな住環境、住生活の実現への寄与、住宅産業の活性化などにつながることを期待して開催するもの

※ 令和3年度(2021年度)から開催しており、2024イベントで4回目となる。



北海道で豊かに安全で安心な生活を送り続けるための住まいや暮らし方って？

ゼロカーボン、脱炭素、子育てしやすい環境、自然災害への備え、ストレスフリーなど、日々の暮らしの安定や将来にわたる持続可能な社会の実現の土台には、住環境が大きく関わっている。北海道において豊かで、安全で、安心な暮らしを続けるための住まいや暮らし方などについて広く道民に知ってもらう機会とする。北方型住宅を始めとする質の高い住まいや官民における様々な取組・製品について、以下6項目（要素）を絡めたPRを展開する。

■テーマの具体的要素

- 要素1 **「ゼロカーボンな暮らしの実現」**
 - ⇒ ゼロカーボン北海道、SDGsに貢献する高性能住宅や省エネルギー、省CO₂などエコライフを実現する取組など
- 要素2 **「子育てしやすい住まいや暮らしの形」**
 - ⇒ 家事や育児がしやすく、安全で快適な空間を提供する住まいや、効率的な家事・育児を叶える製品など
- 要素3 **「暮らしを守る安全・安心な住まい」**
 - ⇒ 耐震性能など自然災害に備えた住まいや、防犯性の高い住まいなど住む人が安心して過ごせる住まい
- 要素4 **「健康的な暮らしを支える住まい」**
 - ⇒ ヒートショックやシックハウスへの対策、湿度や換気のコントロール、自然素材の活用や緑化など心身ともに健康的に暮らせる住まい
- 要素5 **「移住・スローライフな暮らしの提案」**
 - ⇒ 北海道での豊かな暮らしのあり方に関する移住やスローライフなど新たな暮らし方の提案と実現する住まい
- 要素6 **「住まいをつくり守る、担い手の確保」**
 - ⇒ 道内各地で今後も人々が暮らしていくため必要となる住まいのつくり手、守り手の確保・育成





出展ブース

- 出展者は、
 - ①出展会場：赤れんが庁舎前庭 or アカブラ
 - ②ブース仕様：1小間ブース or 2間3間ブース
 - ③PR区分：通常のPRブース or 体験ブース
 について、会場計画、出展料などを参考に選択
※体験ブースは赤れんが庁舎前庭会場のみに配置
- 出展者は、前頁の6項目
 - ①ゼロカーボンな暮らしの実現
 - ②子育てしやすい暮らしの形
 - ③暮らしを守る安全・安心な住まい
 - ④健康的な暮らしを支える住まい
 - ⑤移住・スローライフな暮らしの提案
 - ⑥住まいづくりの担い手の育成
 の中から、企業・団体の取組・製品などPRに合致するものを選択（**複数選択可能**）する
 選択した項目は、社名版、パンフレット等に掲示するなど来場者に分かりやすい形で示す
- ゾーニングは行わないが、ブース配置は会場計画どおりとする
- 出展場所は申込時に希望を受け付け調整する重複した場合は協賛や過去の出展状況など事務局が総合的に判断して調整する

ワークショップ

- 実行委員会直営のワークショップブースを1小間（2間3間）を設ける
- コマは設けず来場者がいつでも参加できる形とする
- 1日目と2日目で内容を変えても良い

テーマ展示エリア

- 今回のイベントテーマについて、前頁の6項目の内容（課題、理想、目指す姿、具現化する取組や製品など）を来場者に分かりやすく紹介する展示エリアを設ける
- 展示エリアは、アカブラ会場の駅前通と接続するイベントゲート直後のスペース（間口約15m×奥行き約15m）
 ※中央の通路部分は空ける
- 展示内容、展示方法はプロポーザルにより提案を募集する
 ※両脇にテントを設置し、パネル展示を行う、またはモニュメント的なものを直接設置するなど、展示方法は自由とする

企画

- 引き続き「小学生住宅俳句コンテスト」などの小学生や未就学児を対象とした作品募集企画を実施する
- 引き続きスタンプラリーやクイズラリーなど会場周遊企画を実施する。今回は、各ブースへの訪問や出展者ステージPRの観覧に繋がるような仕掛けも検討する
- 上記2企画はプロポーザルで提案を求める

ステージイベント

- 赤れんが庁舎前庭会場に特設ステージ、アカブラ会場に簡易ステージを設け、著名人によるトークショーやアーティストLIVE、キャラクターショーなどの集客イベントを行うほか、出展者によるPRタイムを設ける

キッチンカー

- 前回の5台から6台に増加し、3台ずつ2ヶ所に配置する。場所は赤れんが庁舎前庭会場の東門付近（ステージ周辺）と北門付近
 ※会場使用料減免措置を受けるため、今回もアカブラ会場には配置しない
- 飲食用のテーブルをキッチンカー近くに設ける（計10台程度。要調整）

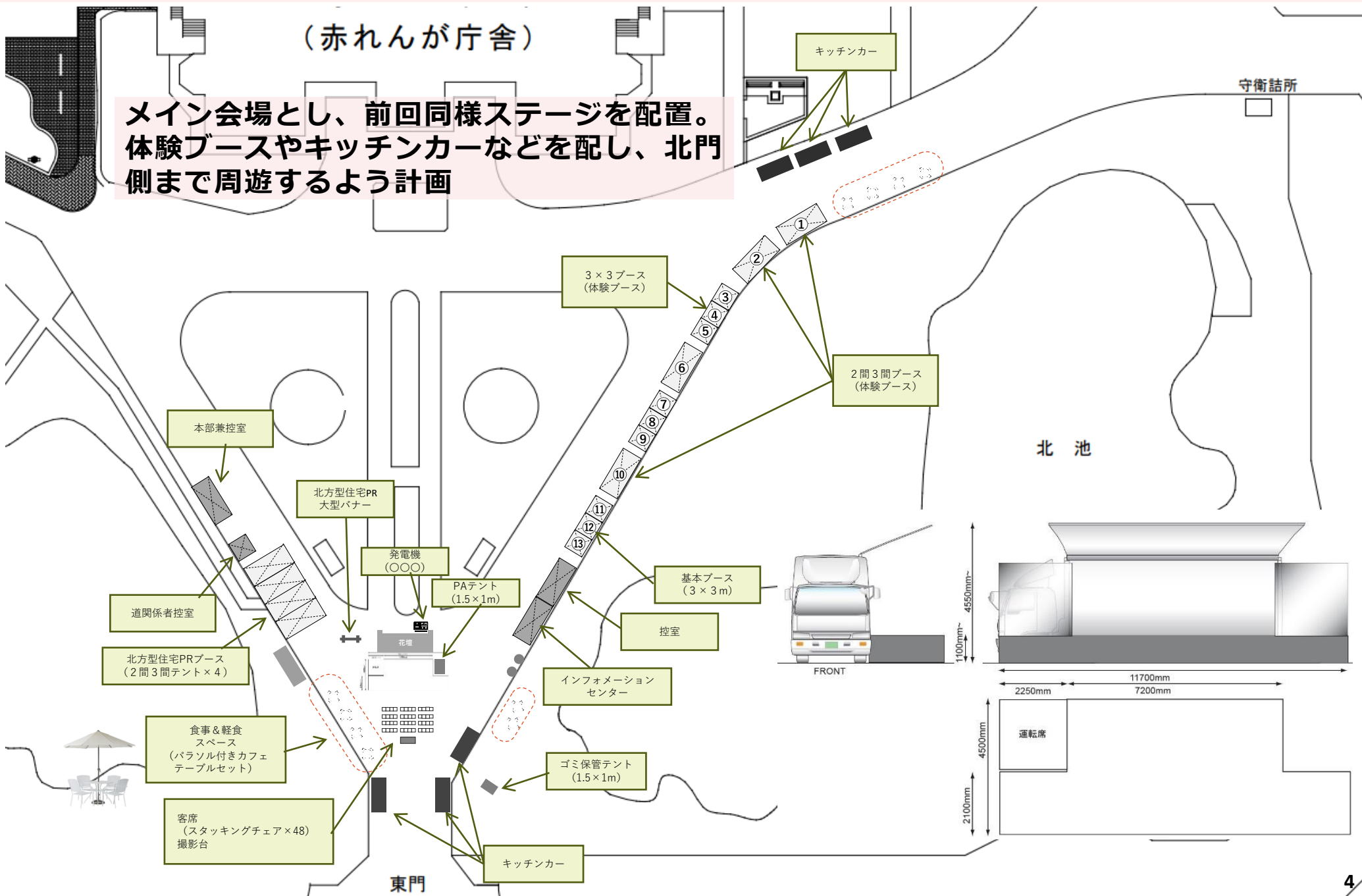
荒天時の緊急的対応

- 台風などあらかじめ荒天が見込まれる場合は、屋外開催を中止し、道庁別館地下講堂での簡易的な開催に切り替えることも検討



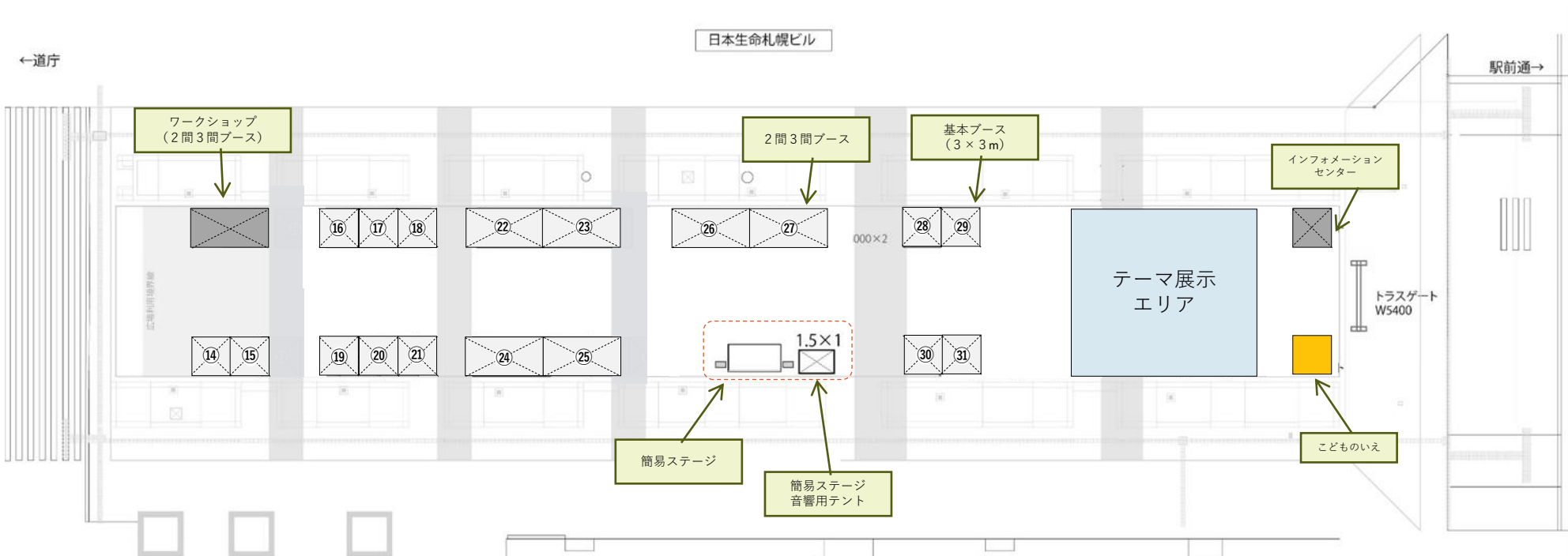
(赤れんが庁舎)

メイン会場とし、前回同様ステージを配置。
体験ブースやキッチンカーなどを配し、北門
側まで周遊するよう計画



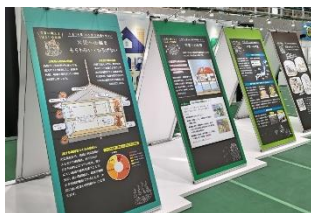


サブ会場の位置づけだが、前回の実績から人通りが多い会場のため、ワークショップ以外は体験ブースは置かず、通常の出展ブースや展示をメインとした計画



■アカプラの会場配置について

- ・駅前通側に会場全体の入口となるトラスゲートを設置
- ・入口近くにインフォメーションセンターを配置
- ・出展ブースは3mテントが12基、2間3間テントが6基
- ・集客モノとして①テーマ展示エリア②こどものいえ③ワークショップ（常設、いつでも参加可能）④簡易ステージを設置



■テーマ展示について

- ・駅前通との接続部分に設置するイベント会場入り口（ゲート）付近にスペースを設ける。
- ・エリアの広さはアカプラ会場間口×15m程度を想定（230㎡程度）
- ・テント設置の有無、展示方法などはプロポーザルで提案を募る。
- ・展示方法、展示内容の例として、住生活月間中央イベントでのテーマ展示などをイメージ（左画像）